

## 4. 地区ごとの緑地配置計画

総合的な配置計画を踏まえ、地区ごとの現況特性やそこから抽出される課題をとりまとめ、地区ごとの緑に関するテーマを設定した。さらにそのテーマに則った地区ごとの将来像を図示した。

### 田園地区（東部）

#### <現況特性>

ほぼ全域が農用地区域に指定されており、黒河湿地は渥美半島県立自然公園の第3種特別地域に指定されている。農地が広がり、汐川が流れ、ため池、谷戸、平地林が点在し、環境保全や景観形成機能の高い田園を形成している。

一方で、年々遊休農地が増加していることや、谷戸や里山への人の関わりが失われていることで、農地景観が部分的に失われている。河川・ため池についても、水質汚濁、オオクチバスなどの特定外来生物の生息による在来種の減少など環境保全機能が低下している。

また、農業振興や広域レクリエーションの拠点であるサンテパークたはら、大アラコ古窯跡（国指定重要文化財）、黒河湿地（県の天然記念物）などの重要な資源が点在している。



サンテパークたはら



大アラコ古窯跡



黒河湿地



池尻川



豊川用水路



ため池 神戸大池公園



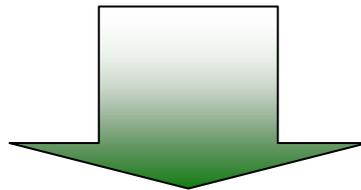
田園風景



電照菊ハウス群

<課題>

- 里山の手入れなどによる河川やため池、用水路、平地林、谷戸などを含めた「田園」の多面的機能向上と生物多様性の確保
- 環境保全型農業の推進
- 「田園」に成り立つネットワークの創出



<テーマ>

環境保全型農業を推進するとともに、農地に点在する多様な「緑」（平地林、社寺林、谷戸など）や「水」（ため池、河川、用水路など）を生物多様性を確保するために、保全改善する。



図 5-4-1 : 田園地区 (東部) 将来像

